

## あけましておめでとうございます。

干支が一回りし、2020という切りの良い数字で新しい年が始まります。自分史上初めての東京五輪は大変楽しみです、屋外環境や膨らむ予算に振り回されて前途多難の予感…。まあ過去を振り返れば我々を成長させてきたのは安閑よりも多少の難局でしたし、期待されないほど結果が良いという例もあります。共に乗り越えられない事は無いと信じて前進しましょう。

(編集委員 関根さおり)

いよいよ東京オリンピック2020開催の年です。昨年のラグビーワールドカップでは大きな感動をもらいました。今年もスポーツで元氣になりたいものです。鹿児島ユナイテッドFCにとっては正念場。まさかの展開でJ3に降格してしまいましたが、はらはらどきどき鹿児島を熱くしてくれました。今年はなんとJ2に返り咲いてほしいものです。みんなで白波スタジアムへGo!!

(編集委員 今村 直人)

昨年、天文館で馴染みのお店3軒が閉店しました。新人が来ると先ず連れて行った刺身とうなぎの美味しい居酒屋。二次会で大騒ぎしたカラオケパブ。3次会以降、無性に食べたくなる餃子のお店。いずれも30年近くお世話になり、閉店の日には挨拶とお礼に足を運びました。平成時代の良い思い出です。令和になって街並みが変わりゆく様をみるのも楽しみです。

(編集委員 森岡 康祐)

今年はなんといっても、東京五輪・パラリンピックが開催されます。五輪で日本オリンピック委員会(JOC)は30個の金メダルを目標としますが、ホームですので、昨年のラグビーワールドカップの時のように皆様の応援が力となり決して実現は不可能ではないと思います。

がんばれニッポン

(編集委員 角 純啓)

昨年は新元号となり、RWCでの日本代表の活躍、その開催国日本と日本国民に対しての好感度アップ、消費税増税とそれに伴うキャッシュレス決済の大幅な普及など様々な出来事の多い年でした。今年も東京五輪という大きなイベントを控え、日本の良さをさらに世界にアピール出来るチャンスOfYearです。どんな感動的な年になるのか今から楽しみです。

(編集委員 寺口 博幸)

前回の東京オリンピックの思い出といえば、聖火リレーとテレビ。テレビで直前まで見ていたランナーがナポリ通りを颯爽と走り抜けていく姿を目の当たりにして、真実を伝えるテレビに驚愕しました。しかし、高校時代、某放送局の企画で聖火の残り火をもらいに行かされ、全国に流れた映像を見た時、捏造されたニュースも放映される現実を知り、メディアリテラシーを学びました。

(編集委員 島田 辰彦)

令和という元号での初めての新年です。「初春令月、氣淑風和」(初春の令月にして、気淑く風和ぎ)が令和の典拠です。令月には「めでたい時期」という意味があるそうです。今年も長友編集委員長をサポートし、編集委員の先生方とともに、充実した鹿児島市医報の紙面作りに励みます。自然災害の少ない安寧な一年であることを祈念し、今年もよろしくお願い申し上げます。

(副編集委員長 帆北 修一)

編集委員の先生方とともに、より質の高い紙面づくりに励み、鹿児島市医師会を取り巻く種々の情報を会員の先生方に迅速かつ正確にお伝えいたします。また、本誌への積極的なご投稿をお待ちしています。特に近年、「鹿市医郷壇」への投稿が少ない状況です。今年もよろしくお願い申し上げます。

(編集委員長 長友 医継)